

製品名: Lyn ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab13511**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:10000
分子量	53,56kDa

抗原情報

遺伝子名	LYN
別名	LYN; JTK8; Tyrosine-protein kinase Lyn; Lck/Yes-related novel protein tyrosine kinase; V-yes-1 Yamaguchi sarcoma viral related oncogene homolog; p53Lyn; p56Lyn
遺伝子 ID	4067.0
SwissProt ID	P07948
免疫原	抗血清はヒト Lyn 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 463-512

背景

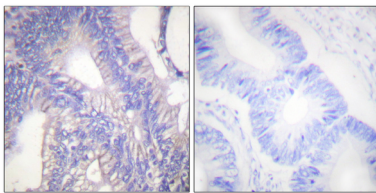
この遺伝子はチロシンプロテインキナーゼをコードしており、肥満細胞の脱顆粒および赤血球分化の調節に関与している可能性がある

ります。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする選択的スプライシング転写バリエーションがみついています。[RefSeq 提供、2011年7月]、触媒活性: ATP + a [protein]-L-チロシン = ADP + a [protein]-L-チロシンリン酸。、類似性: プロテインキナーゼスーパーファミリーに属します。Tyr プロテインキナーゼファミリー。、類似性: プロテインキナーゼスーパーファミリーに属します。Tyr プロテインキナーゼファミリー。SRC サブファミリー。、類似性: 1つのプロテインキナーゼドメインを含みます。、類似性: 1つのSH2ドメインを含みます。、類似性: 1つのSH3ドメインを含みます。、サブユニット: リン酸化 LIME1 および BCR 活性化時に CD79A と相互作用します。エプスタイン・バーウイルス LMP2A と相互作用する。TGFB111 と相互作用する。SH2 および SH3ドメインを介して MUC1 と相互作用する。この相互作用は IL-7 によって刺激され、その後のリン酸化によって MUC1 と CTNNB1/β-カテニンとの結合が促進される。SH3ドメインを介して PPP1R15A と相互作用する。、組織特異性: 原発性神経芽腫で発現する。、

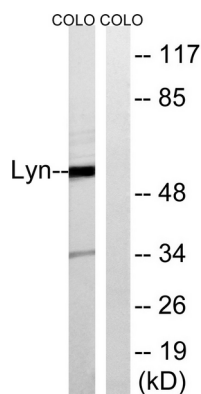
研究分野

ケモカイン、B細胞抗原、Fcイプシロン RI、Fcガンマ R を介した貪食作用、長期抑制、ヘリコバクターピロリ感染における上皮細胞シグナル伝達。

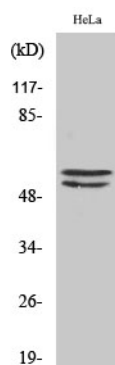
画像データ



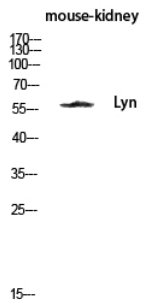
Lyn 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト大腸癌組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



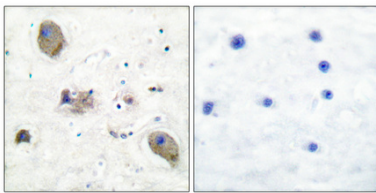
COLO 細胞ライセートを H₂O₂ 100μM 30 分処理し、Lyn 抗体を用いてウェスタンブロット解析を行った。右レーンは合成ペプチドでブロッキングした。



Lyn ポリクローナル抗体を 1:500 に希釈して様々な細胞をウェスタンブロット解析した。



Lyn 抗体を用いたマウス腎臓溶解のウェスタンブロット分析。抗体は 1:500 に希釈した。



パラフィン包埋ヒト乳がんの免疫組織化学染色。抗体は 1:100 (4℃、一晚) に希釈した。抗原賦活化には、高圧高温トリス EDTA (pH8.0) を使用した。抗体から得られたネガティブコントロール (右) は、免疫原ペプチドで前処理した。